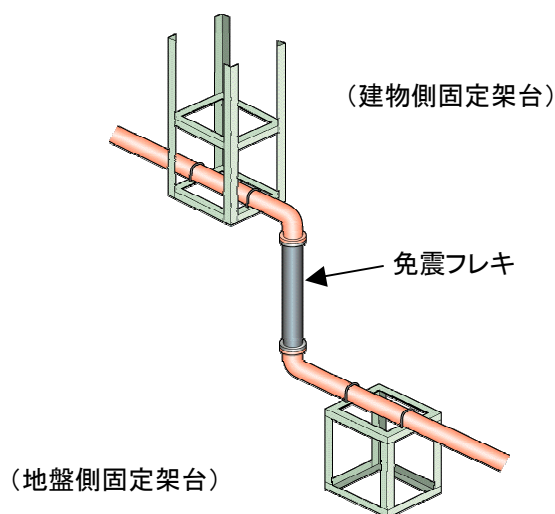


1. ライザーユニット各部の名称



2. 施工手順

1) 免震フレキの取付

免震フレキに捻じれが加わらないように取り付ける。

取付面間は配管からフレキ側に向かって(配管方向)+20~0mm、偏芯(配管に直角な方向)は10mmを目安にする。なお、SUS製フレキは取付長に対してフレキ長が長くなっており、弛ませた状態で設置する。

2) 建物側、地盤側配管との接続

各配管との接続はボルトナットにて、片締めや締めすぎにならないように締結する。
また、それぞれの配管は専用固定架台にて支持する。

—注意事項—

- ・建物側配管、固定側配管の芯出しは確実に行う。
- ・建物側、地盤側の固定架台は免震フレキより1000mm以内に設置する。
- ・建物側、地盤側の配管はSGP管と同等もしくはそれ以上の強度を有する材料を使用する。
それ以下の場合には、免震フレキとの間に同等以上の強度を有する短管を設け、固定架台も同箇所に取り付ける。
- ・免震配管ユニットの周辺には作動時に障害となるようなものは置かず、十分なスペースを確保する。